

2月例会「講演会」

NPO法人
ミニケアホーム きみさんち を語る

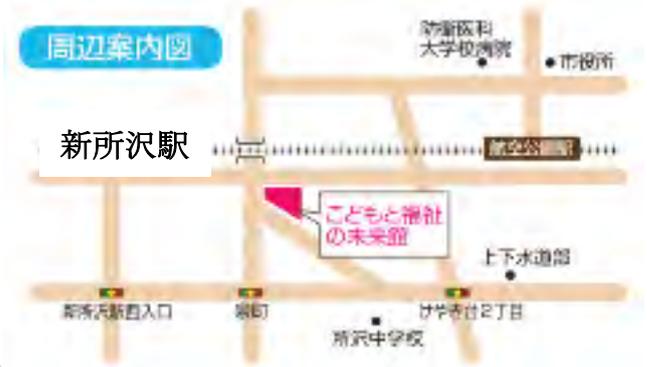
経緯：なんでこんな小さな家が「グループホーム」？とその家を見た瞬間思った。

中に入ると玄関からすぐのところに、台所があり、すぐ隣が食堂となっていた。私達が通されたのは4畳半、ここで志寒さんと面談したが、コミュニケーションがとりやすい部屋であった。

2階には6名分の寝室があるらしく今まで見た老人ホームと全く異なる佇まいであった。

帰りに武蔵関駅の商店街の雑貨屋と喫茶店に寄ったら、いずれの店も「グループホームの住人」を知っていて“よく来る”と言っていた。グループホームと近隣住民が一体となった活動であることが初めて分かった。

1. 日時：2月19日(月)13時30分～
2. 場所：こどもと福祉の未来館
3階多目的室4号
3. 講師：志寒 浩二氏 介護福祉士
(*きみさんち管理者)



4. 問合せ先：
本橋：2944-1555 山本：2995-0876
薄井：2945-2660 加曾利：2939-2308



* 「きみさんち」とは

その昔、山下きみさんが認知症になり、息子のあきおさんがこの家で介護をしていました。そのきみさんが亡くなった後に、この建物を介護の世界で有意義な使い方が出来ないかという考えの下、当時つながりがあった方が、1999年4月1日に宅老所として開設しました。翌2000年10月1日介護保険スタートに伴ってグループホームに。